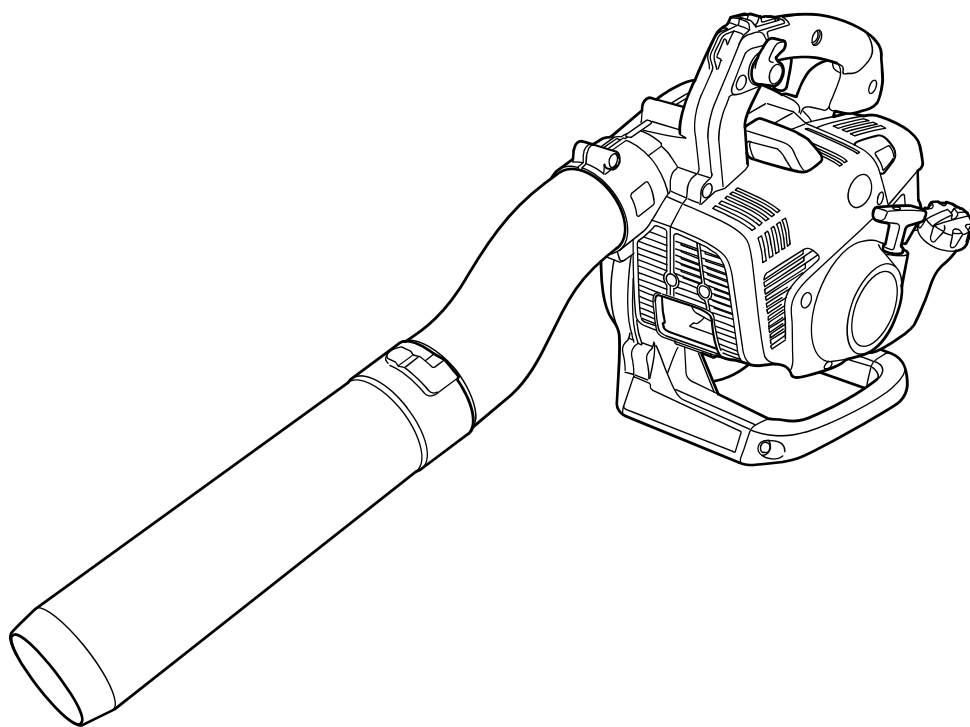


# ゼンアブロウ 取扱説明書

## HBZ260EZ



※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

\*This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

### 警告



- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

## 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。  
これらの表示に従って **誤操作のないよう** ご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		燃料の給油口および使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを示します。
ストップスイッチ		ストップスイッチを矢印の向きに操作するとエンジンが停止することを示します。
チョークレバー		レバーを上げるとチョークが閉じることを示します。
エアクリーナカバー 左側面上部	<b>H</b>	表示下のスクリュウが高速ニードルであることを示します。
	<b>L</b>	表示下のスクリュウが低速ニードルであることを示します。
	<b>T</b>	表示下のスクリュウがアイドル調整スクリュウであることを示します。
エアクリーナカバー 左側面下部		プライマポンプを押すとキャブレタに燃料が満たされることを示します。

# はじめに


このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。




## 安全 第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

### ■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。


- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
|  <b>危険</b> | : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。  |
|  <b>警告</b> | : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
|  <b>注意</b> | : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。       |
| <b>重要</b>   | : 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。    |
| <b>補足</b>   | : その他、使用上役立つ補足説明を示します。                |

# 目 次


<b>▲ 正しくお使いいただくために</b> .....	1
警告ラベルとその取扱い.....	4
サービスと保証について.....	5
製品主要諸元.....	6
各部の名称.....	7
標準付属品.....	7
組立	
ブロワパイプの接続.....	8
燃料.....	9
給油.....	10
エンジンのかけかた.....	11
エンジンのとめかた.....	13
操作方法	
一般的注意事項.....	14
スロットルレバーの操作方法(風速調節).....	15
ブロー作業.....	16
点検整備	
作業前後点検.....	17
定期点検.....	17
エアクリーナ.....	18
燃料フィルタ.....	19
スパークプラグ.....	20
冷却用空気通路.....	21
吸気孔.....	22
マフラ.....	23
エンジンの調整.....	25
長期保管時の手入れ.....	26
故障のときは.....	27



## 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

### ■ 製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。
- このブロワは屋外の落ち葉や散乱したゴミ屑等の吹き寄せ清掃を主用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的には使用しないでください。
- 本製品は高速で吹き出す風力を利用するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人、妊娠している人や子供には絶対に使わせないでください。
- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。
- 次のような場合はお使いにならないでください。
  - ① 店頭の恐れがあるなど、製品の正常な保持・操作が困難な場合
  - ② 霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
  - ③ 悪天候時(降雨、強風、雷など)
  - ④ 作業中吹き飛ばされたゴミで周囲の人や物に危害を及ぼす恐れがある場合
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けるか、周囲に危険物のない広場等で練習し、操作に慣れてから本格作業に入るようにしてください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- 小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。
- 事故やけがに備え、次の用具を携行してください。
  - ① 救急箱
  - ② 止血道具(タオル・手ぬぐい等)
- この製品は運転中に電磁界を発生し、電磁界がペースメーカやその他の医療器具に干渉する場合があります。重傷・致命傷のリスクを軽減するために、ペースメーカやその他の医療器具を装着された方は、この製品を使用する前に医師またはペースメーカ・医療器具メーカーに相談してください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。
- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。



## 正しくお使いいただくために

### ■ 使用時の服装・装備

- ブロワをお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、作業帽、手袋、作業靴を着用してください。また、作業時の粉塵や運転音から身体を守るため、防塵メガネ(ゴーグル)、耳栓(イヤマフ)、防塵マスクをお使いになるようお勧めします。危険ですので裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履ばきでの作業はしないでください。



- 吸気孔に吸い込まれるような服装、宝飾品などは身に付けしないでください。長い髪は束ねるなどして、吸気孔に吸い込まれないようにしてください。

### ■ 運搬時の注意事項

- 燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。キャップがゆるみ燃料が漏れ出す恐れがあります。
- 車で運搬するときは、機体をロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

### ■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。



焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

- くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。



- 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

- 給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

- 給油後、燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料漏れがないことを確かめてください。



## 正しくお使いいただくために

### ■ 使用時の注意事項

- エンジンをかける前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の損傷、燃料漏れ、操作部の作動不良等の異常が発見された場合は、使用を中止して完全に整備してください。
- 作業前に現場内および周辺の状態をよく確かめ、作業区域内に人や車が進入する恐れがある場合は、適切な方法で立ち入り禁止措置を講じてください。また、区域内の傷つきやすい物は移動するか覆いをしてください。
- 作業中は周囲の人と15m以上の距離を保ち、子供や動物は作業現場から遠ざけてください。
- 不測の事故や火災の危険がありますので、エンジンをかけたままブロワの吹き出し口を周囲の人や焚き火、焼却炉、ストーブ、かまど等に絶対に向けないでください。
- 作業の途中で休憩や燃料補給、機体の点検などをする場合は、必ずエンジンを停止してください。

- エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。電気ショックを受ける恐れがあります。



- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。



### ■ 整備上の注意事項

- 製品の機能を維持するため使用前および定期的に本書記載の点検整備を実施してください。  
本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。
- 点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。
- 送風機の吸気孔ガードを取り外して運転しないでください。高速回転する送風ファンに触れる恐れがあり、非常に危険です。
- 送風機やエンジンの分解・改造等しないでください。  
運転中に機体が破損し、重大な事故を招く危険があります。
- 交換部品や補充用油脂類は、ゼノア純正品または指定品を使用してください。

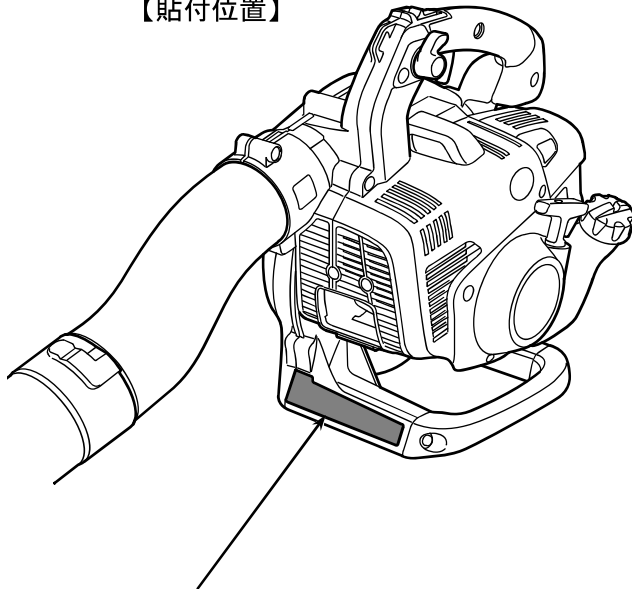




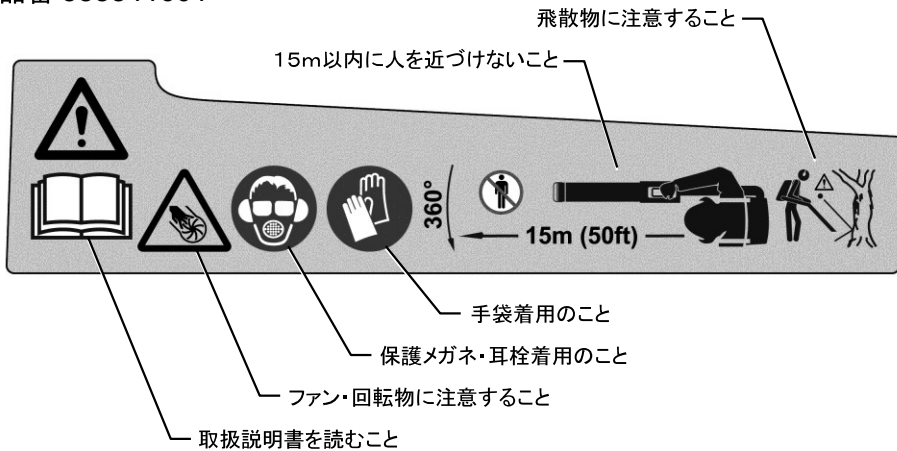
# 正しくお使いいただくために

## ■ 警告ラベルとその取扱い

【貼付位置】



品番 588841601



### 【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。



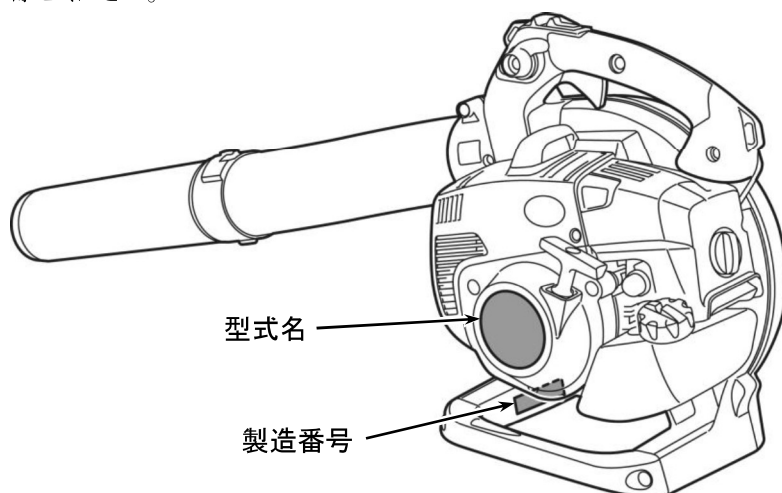
# サービスと保証について

## ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口(裏表紙記載)にお寄せください。



## 保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

## 補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後8年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合があります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



機械の改造は危険ですので、改造しないでください。  
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

# 製品主要諸元

名 称 ・ 型 式		ゼノアエンジンブロウ HBZ260EZ
本体乾燥質量(※1) kg		3.9 (3.7)
外形寸法 (※2)	全 長 mm	330
	全 幅 mm	220
	全 高 mm	345
燃料タンク容量 L		0.45
送風機 (※3)	使用回転数 rpm	3000~7300
	最大風量 m <sup>3</sup> /分	13
	最大風速 m/秒	73
エンジン	形 式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排 気 量 cm <sup>3</sup>	25.4
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン 〔混合比:ゼノア純正オイル(FD 級)使用時 50:1 ゼノア純正オイル(FC)使用時 40:1〕
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル
	キャブレタ	バタフライ式
	点火方式	デジタル制御式(CDI)
	スパークプラグ	NGK BPMR8Y
	始動方式	リコイルスタータ式
停止方式	点火回路一次側短絡式(スライドスイッチ)	

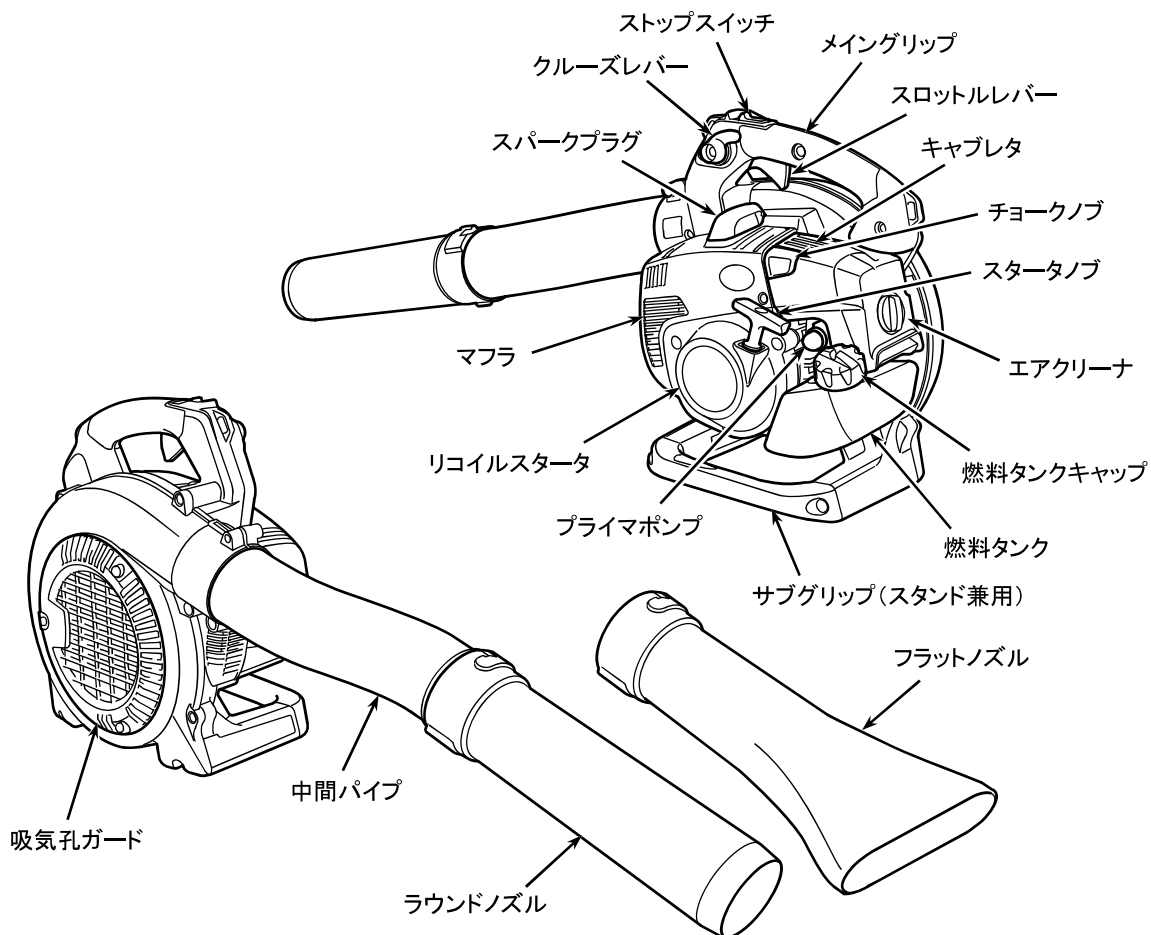
(※1) 燃料を除く。( )内は、ブロウパイプを外した重量

(※2) ブロウパイプを取り外した状態の寸法

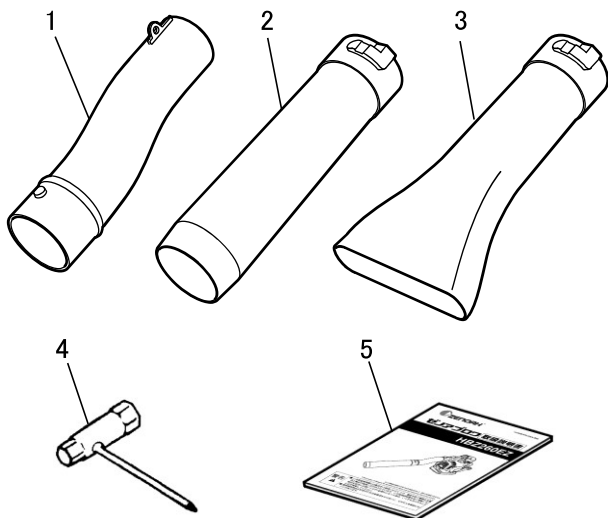
(※3) ラウンドノズル装着時

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

# 各部の名称



# 標準付属品



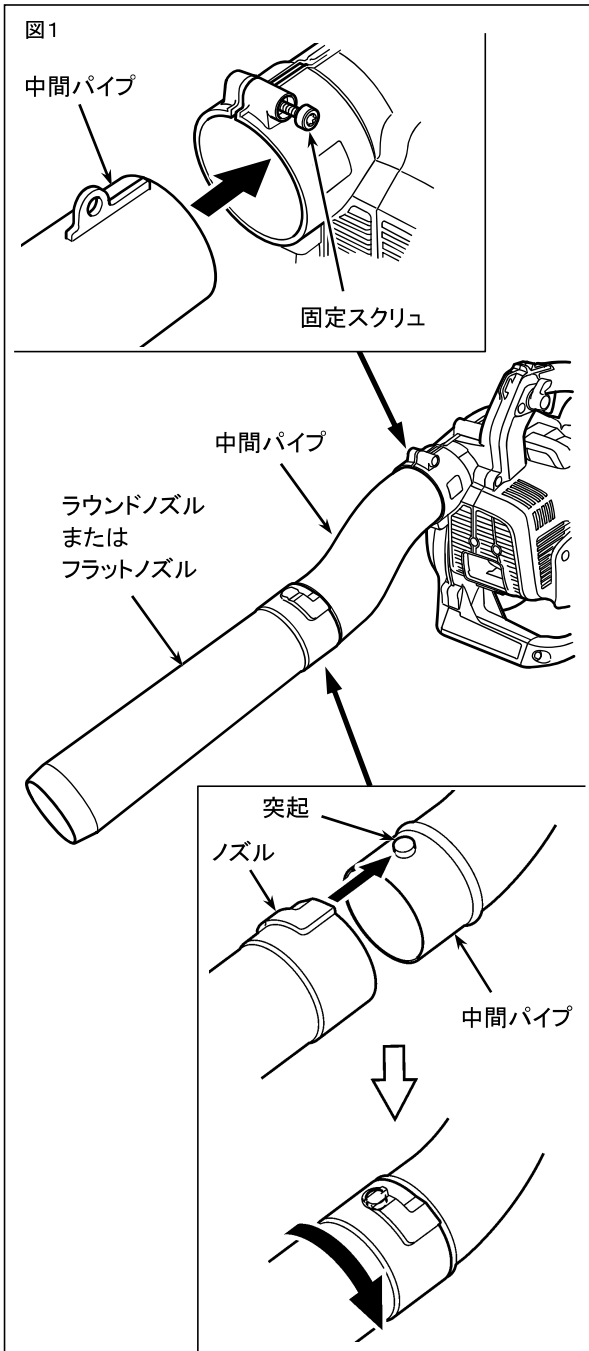
図番号	部品番号	品名	数量
1	586018201	パイプ	1個
2	586018501	ラウンドノズル	1個
3	586232001	フラットノズル	1個
4	588841401	ソケットレンチ	1個
5	115762879	取扱説明書 ※	1冊

※: 保証書が挟み込まれています。

# 組立

## ■ ブロワパイプの接続

補足	ラウンドノズル、フラットノズル共に接続方法は同じです。用途に合わせて選択してください。
----	---





1. 本体のパイプ取付部の固定スクリューをゆるめてください。

**補足** 固定スクリューは本体からは抜けません。

2. パイプ取付部のスリットに中間パイプのスクリュー穴の突起を合わせて挿入し、固定スクリューを締め付けて固定してください。
3. ノズル端部の溝を中間パイプの突起に合わせてまっすぐ押し込み、右に回して固定してください。

# 燃 料

 <b>危 険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。</li> <li>● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。</li> <li>● 混合作業は屋外で行ってください。</li> <li>● 機体や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。</li> </ul>
--	---

 <b>警 告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。</li> <li>● 燃料補給時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。</li> <li>● 燃料タンクキャップを開けるときはゆっくりと開けて、タンク内の圧力を逃がしてください。</li> <li>● 燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンク周辺から漏れやにじみがある場合は、直ちに使用をやめ、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。</li> <li>● 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。</li> <li>● 余った燃料は、金属製のガソリン携行缶で保管してください。</li> <li>● 燃料を運搬する際は、金属製のガソリン携行缶を使用してください。</li> </ul>
--	---

<b>重 要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。</li> <li>● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。</li> <li>● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。機体や燃料容器に水がかからないようにしてください。</li> <li>● 4サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。</li> <li>● エンジン不調の原因となりますので指定外のオイルや混合比で使用しないでください。</li> </ul>
------------	--



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

### 〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル(FD級)使用時  
 ..... 50:1  
 (ガソリン1Lに対しオイル20mL)

□ゼノア純正2サイクルオイル(FC)使用時  
 ..... 40:1  
 (ガソリン1Lに対しオイル25mL)

もしくは、JASO性能分類FD級のオイルを50:1の比率でよく混合してください。

# 給油



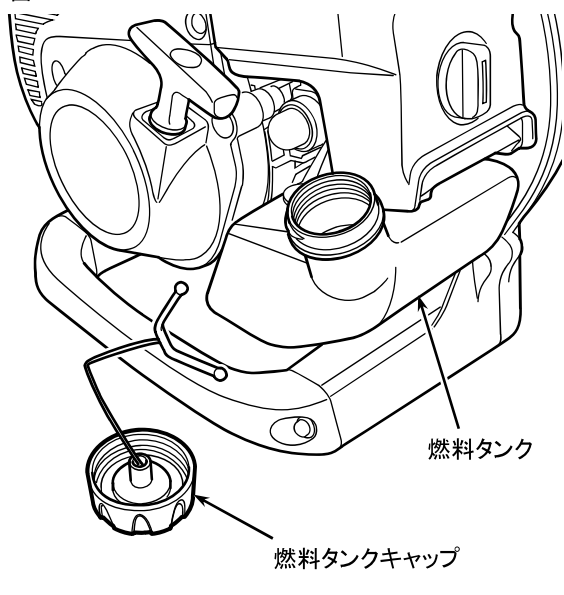
## 危険

- 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。
- 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。
- 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

## 重要

燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料が漏れる恐れがあります。

図3



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクのキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

## — ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

- ◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
- ◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
- ◎混合の手間不要
- ◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

## エンジンのかけかた



### 危険

- 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。  
給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。
- 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。  
人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。



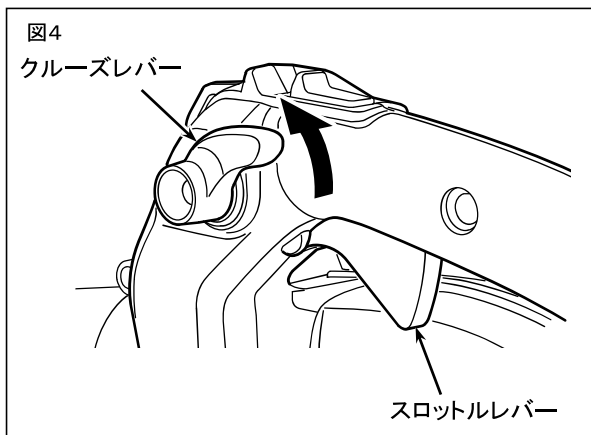
### 警告

- エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドル位置にしてください。
- エンジン停止時、移動時には必ずストップスイッチを「停止」側にしてください。



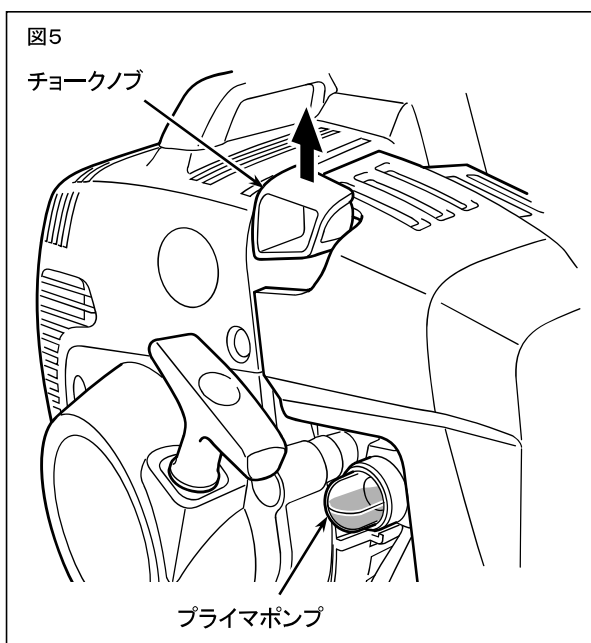
### 注意

- 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。
- 始動前に機体各部を点検し、ネジのゆるみやスロットルレバーの作動不良、燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。
- 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
- 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。
- 始動と同時に強い風が吹き出しますので、エンジン始動時はノズルの前方に人がいないことを確かめてください。



1. クルーズレバーを「始動」位置にしてください。

**補足** クルーズレバーと連動してスロットルレバーも「始動」位置になります。

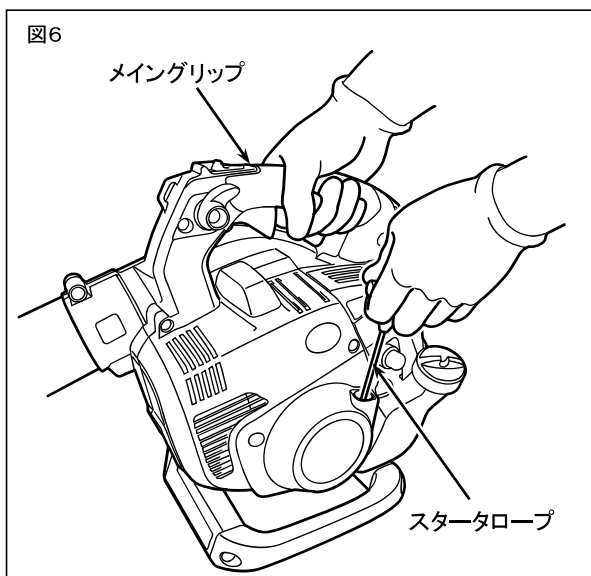


2. プライマポンプの内部に燃料が現れるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

**補足** 燃料タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合は、プライマポンプの操作は不要です。

3. チョークノブを引き上げ、チョークを閉じてください。

**補足** 暖機時に再始動するときは、チョークを一度引き上げてから押し下げる操作をすることで、始動時のエンジン回転数が若干高くなり、始動加速がスムーズになります。



4. 右手でメイングリップを握って機体を安定した地面に固定してください。

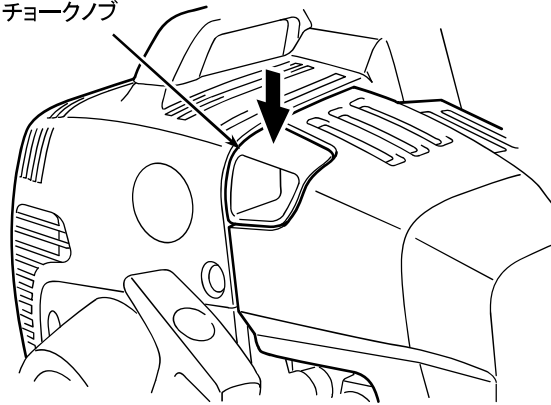
5. 左手でスタータノブを引いてください。スタータノブは始めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。エンジンが始動するまでスタータノブを繰り返し引きます。(最大5回)

**重要** スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、スタータノブから手を離して戻したりしないでください。また、スタータロープを手に巻き付けしないでください。



図7

チョークノブ



6. チョークノブを押し込み、チョークを開いてください。
7. スロットルレバーを握り、エンジン回転数を徐々に上げてください。

**重要** 本製品はチョークと連動して、アイドル時の回転数を高くする機構がついています。チョークを一度引き上げると、チョークを戻しても回転数は少し高い状態で維持され、スロットル操作をすることで解除されます。

## エンジンのとめかた



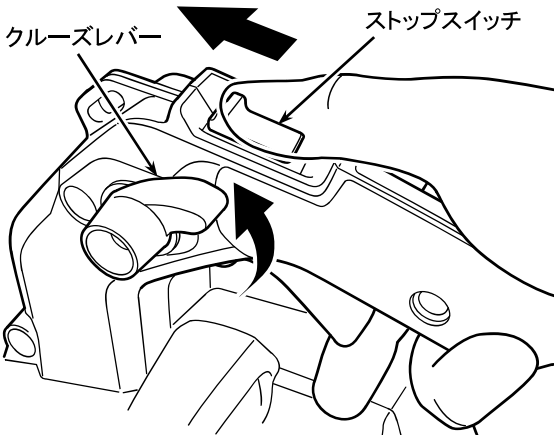
注意

- 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。

図8

クルーズレバー


ストップスイッチ




1. クルーズレバーをアイドル位置に戻してください。
2. ストップスイッチを「STOP」側にエンジンが止まるまで押してください。


**補足** エンジンが完全に停止するまでストップスイッチを押し続けてください。


# 操作方法

 <b>警告</b>	運転中エンジンは高温になります。また、素手で触れられる温度でも長時間接触しているとやけどをする恐れがあります。作業中に衣服の上からでも肘など身体がエンジンに当たらないよう正しい姿勢で作業してください。
--	--

 <b>注意</b>	使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1～4ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。
--	--

## ■ 一般的注意事項

 <b>警告</b>	周囲の環境に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の作業エリアに他の作業者が近づいてきたら、安全な距離が確保できるまでスロットルをアイドル位置に保ってください。</li><li>・人、動物、遊び場、開いた窓や車などにブロウを向けないようにしてください。</li><li>・作業員以外の人が入る15m以内の作業エリアに近づいたら、すぐにエンジンを停止してください。</li></ul>
--	---

 <b>注意</b>	万一の事故のときに助けを求められないような状況では本機を使用しないでください。
---	---

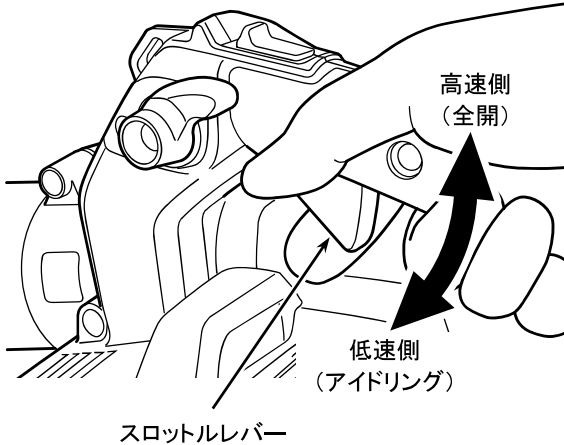
- 周囲15mの作業エリアに、許可なく人や動物が入らないようにしてください。
- 燃料を補給するときは、十分にエンジンが冷えてから行ってください。
- 作業中に、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
- エンジンがかかっている状態で、スパークプラグやイグニッションケーブルに触れないでください。感電する場合があります。
- 石などの硬い物体をブロウの風力で飛ばさないでください。跳ね返ってけがをする可能性があります。
- ブロウを人や動物に向けないでください。
- 中間パイプやノズルを脱着するときは、必ずエンジンを停止してください。
- 気象条件の悪いとき（濃霧、豪雨、強風、厳寒など）は、本機を使用しないでください。
- 作業場所の状況（木の根、岩、枝、溝などの障害物の有無）を確認してください。また、斜面での作業は、特に注意してください。
- エンジンをかけたまま本機から離れるときは、必ずよく見える場所に置いてください。
- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内などの通気の悪い場所では本機を使用しないでください。
- ブロウははしごなどの足場の悪いところでは使用しないでください。

## ■ スロットルレバーの操作方法(風速調節)

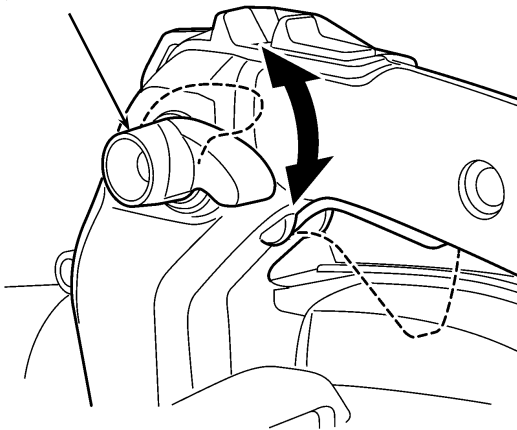
重要

技能的に難しいと思える操作は行わず、お買い上げ店に依頼してください。

図9



クルーズレバー



スロットルレバーを人差し指で徐々に引くと風速（エンジンの回転）が上がります。引ききった位置がフルスロットルです。作業に適した風速に調節してください。

- 本機にはクルーズレバーが装備されています。スロットルレバーは、クルーズレバーに連動していて、クルーズレバーを移動することにより風速の調節ができ、スロットルレバーから指を離してもその風速を保持することができます。

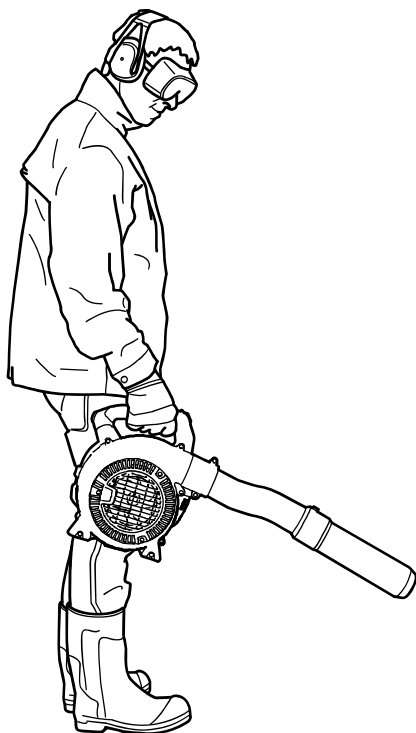
## ■ ブロー作業

<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 石やゴミなどの飛散物が目に入り、失明する恐れがあります。必ず防塵メガネを着用してください。</li><li>● 自分の作業エリアに他の作業者が近づいてきたら、安全な距離が確保できるまでスロットルをアイドル位置に保ってください。</li><li>● 子供や動物などの作業者以外の方が15m以内の作業エリアに入らないようにしてください。また、誰かが近づいたら、すぐにエンジンを停止してください。</li></ul>
-----------	---

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 作業前に空気取り入れ口に葉やゴミなどで塞がっていないことを確認してください。空気取り入れ口が詰まっていると、ブロワの送風性能が下がってエンジンの温度が上がり、エンジン不良の原因となります。</li><li>● ブロワのノズルや中間パイプを火気に近づけないようにしてください。</li></ul>
-----------	---

<b>重要</b>	ブロワの使用にあたっては、周囲の迷惑を考え、深夜や早朝の時間帯は避けてください。同時に使用するブロワの数を制限して騒音レベルを抑えてください。
-----------	---

図10



- フルスロットルが必要になる作業はめったにありません。ブロワは必要最低限の風速で使用してください。低速の場合、騒音と粉塵の量が少なく、また集めたゴミの処理が簡単になります。
- ブロワの吹き出し口はできるだけ地面に近づけてください。
- 埃っぽいエリアは軽く湿らせておくとブロー時間を短縮できます。
- 芝生やガーデン周りのテラス、スクリーン、グリル、ポーチなどに対しては、ホースで水をまくよりもブロワを使用することにより、水の消費を低減できます。
- ゴミを一箇所に集めるときは、地形や風向きを考慮し、上方から下方へ、風上から風下へ、を基本に作業手順を設定してください。

# 点 検 整 備



## 注 意

- 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。  
製品の改造が原因で故障した場合は、弊社保証の対象外となります。
- マフラの整備が必要な場合は、販売店にご相談ください。整備方法を誤ると運転中に高温の排気ガスが吹き出す危険があります。
- 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。
- ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

## ■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点 検 項 目			処 置
1	風管	・取付ボルトゆるみ ・破損	・締め付け ・交換
2	吸気孔ガード	・取付部ゆるみ ・破損	・締め付け ・交換
3	メイングリップ	・オイル付着	・ふき取り
4	スロットルレバー	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
5	燃料タンク	・取付部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
6	マフラ	・取付部ゆるみ ・排気ガス出口の詰まり	・締め付け ・マイナスドライバーなどで詰まりを取り除く

## ■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

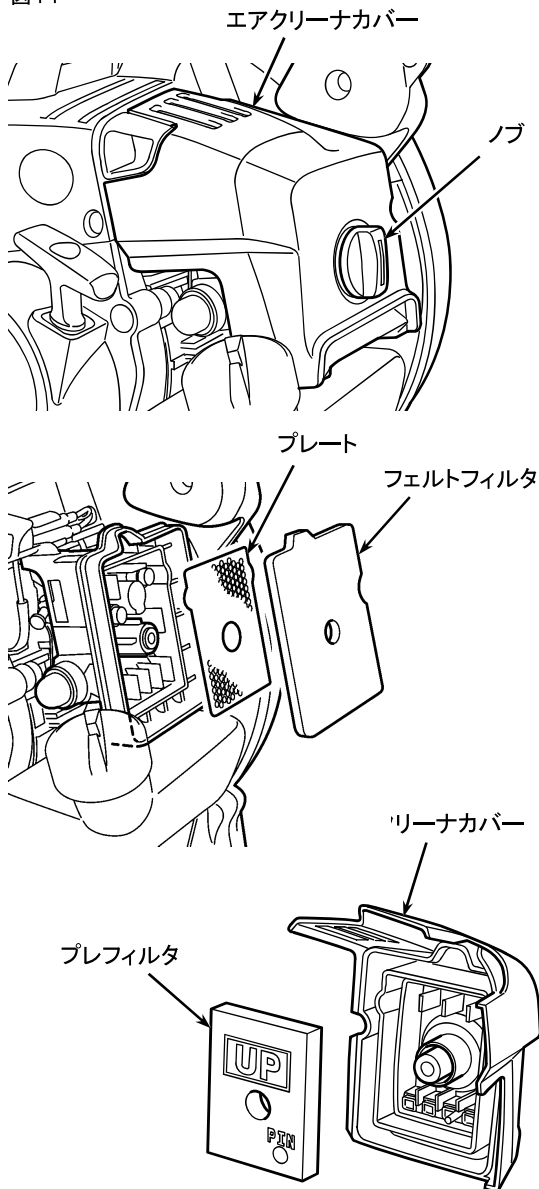
点 検 整 備 項 目	使用時間			備 考
	日常点検	25時間	100時間	
エアクリーナの清掃	○			
燃料漏れの確認	○			
燃料フィルタの点検		○		
スパークプラグの点検清掃、調整		○		スキマ0.6~0.7mm
マフラの点検とカーボン落とし			○	
マフラボルトの増締め	○			
エンジン各部の増締め			○	
シリンダフィンの点検清掃		○		

## ■ エアクリーナ

### 重 要

- プレフィルタおよびフェルトフィルタが詰まるとエンジン性能が低下します。また、プレフィルタおよびフェルトフィルタを外して運転したり、変形・破損したプレフィルタおよびフェルトフィルタを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。
- エアクリーナカバーを取り付け後、手で軽く動かして外れないことを確かめてください。取り付けが不完全だと、使用中にカバーが外れてプレフィルタおよびフェルトフィルタが脱落、紛失することがあります。

図11



1日の作業が終わったら、エアクリーナカバーを取り外してプレフィルタの汚れ具合を点検し、エアクリーナ内に付着したゴミをブラシなどで取り除いてください。

- プレフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。
- フェルトフィルタの汚れがひどい場合は、新品と交換してください。
- プレフィルタおよびフェルトフィルタが変形・破損した場合は、新品と交換してください。

### 補 足

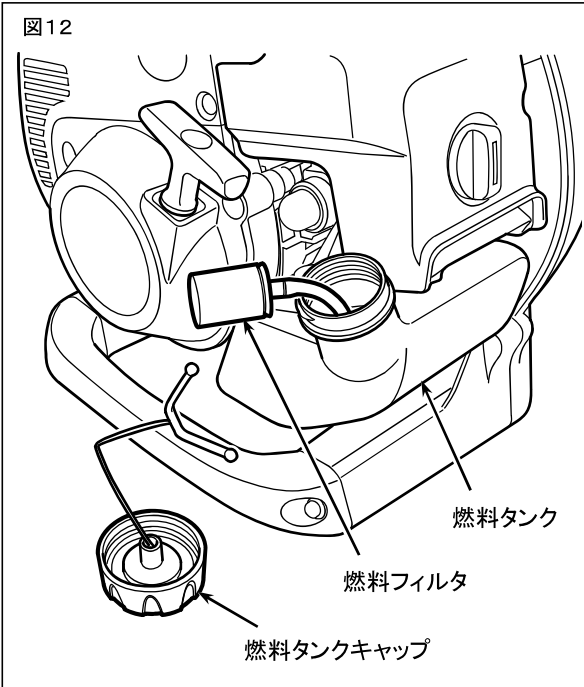
- ・ プレフィルタはドライタイプ(乾式)です。
- ・ プレフィルタを有機溶剤で洗わないでください。

## ■ 燃料フィルタ

### 重要

燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

図12



25時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。


燃料フィルタ品番

503443201

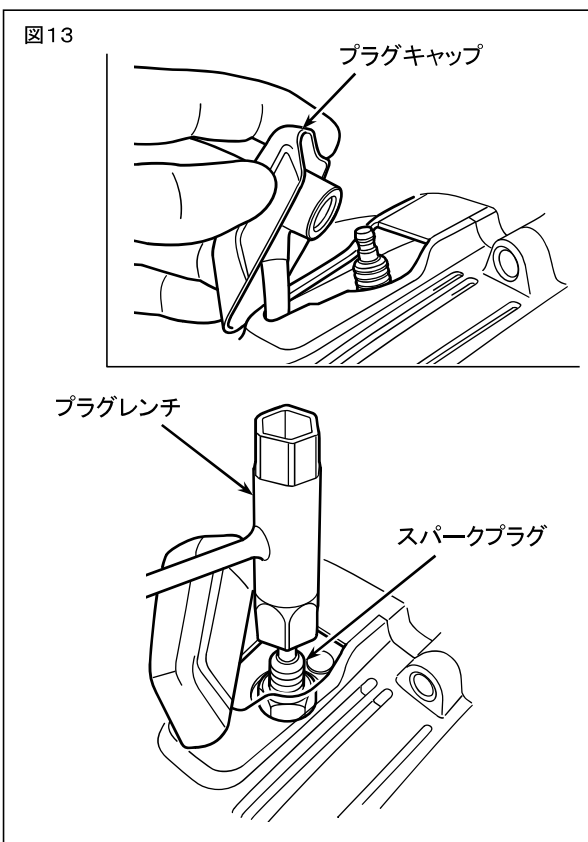
### 重要

燃料フィルタをタンクに戻す際は、燃料パイプが折れ曲がらないように注意してください。

## ■ スパークプラグ

 <b>注意</b>	<p>エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。</p>
--	--

<b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)を使用してください。</li> <li>● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。</li> <li>● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。</li> </ul>
-----------	--



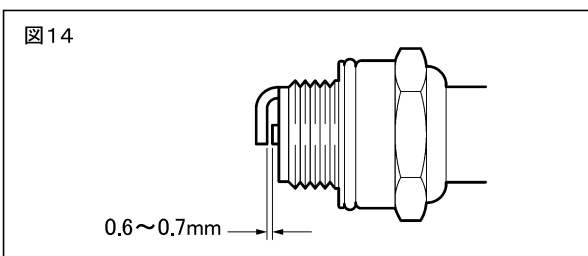
25時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

- プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチ(ソケットレンチ)で締め付けます。

【締め付トルク】

14.7～21.6N・m {150～220kgf・cm}

**重要** 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。



- プラグ交換時は指定品を使用してください。


指定スパークプラグ

NGK BPMR8Y

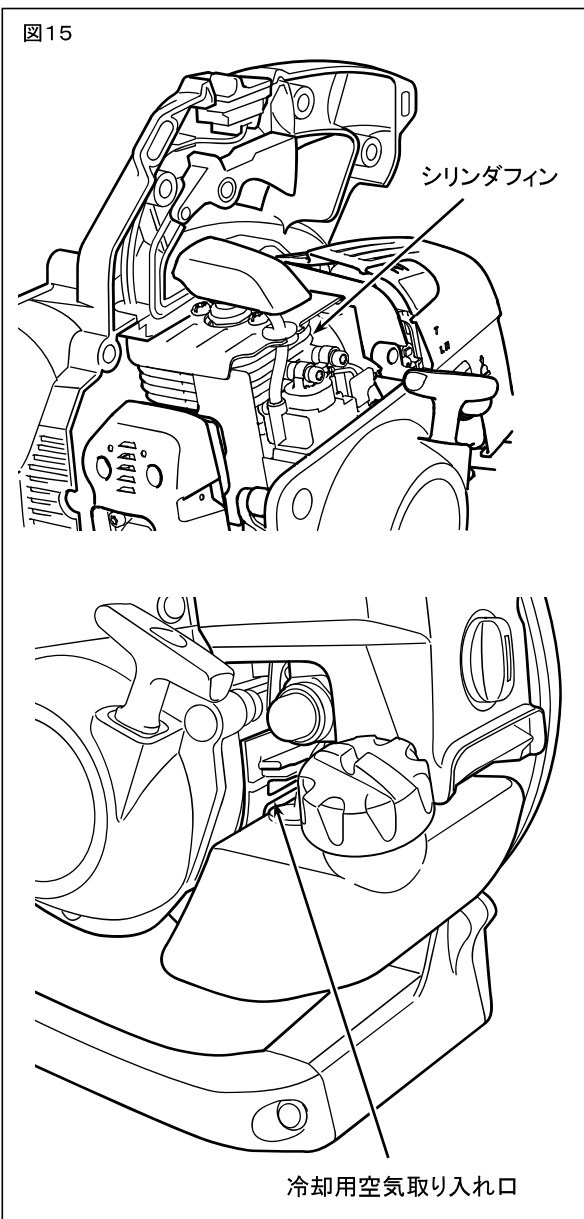
- 電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。



## ■ 冷却用空気通路

 <b>注意</b>	運転中は、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。 回転部品に触れる恐れがあり危険です。
---	---

<b>重要</b>	冷却用の空気取入口やシリンダフィンの中にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。
-----------	---



25時間使用毎に冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

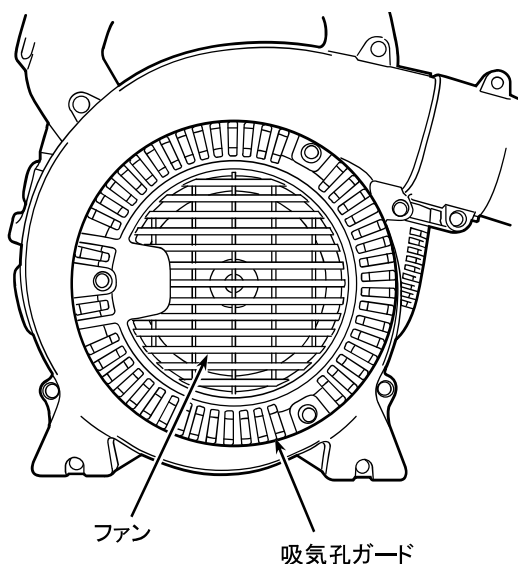
## ■ 吸気孔



### 警告

- 吸気孔ガードを外して使用しないでください。送風ファンに触れて負傷する恐れがあります。
- 始動前には吸気孔ガードが正しく取り付けられ、破損していないことを確認してください。
- エンジンをかけたまま吸気孔に棒を差し込んだりしないでください。
- 吸気孔の点検は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

図16

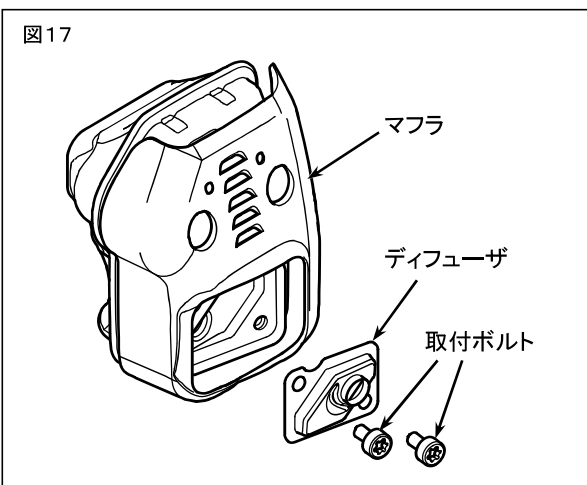


使用中に風力が弱まった場合はエンジンを停止し、吸気孔が葉やゴミで塞がっていないか点検してください。塞がっている場合は、付着した葉やゴミを取り除いてください。

## ■ マフラ

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 始業点検時にボルトのゆるみがないか、マフラの破損やさびがないか点検してください。マフラの取り付けを誤ると運転中にマフラがゆるんで高温の排気ガスが吹き出す危険があります。もし、排気ガスが漏れ出した場合は、すぐにエンジンを停止し、お買い上げ店に点検、修理を依頼してください。</li><li>● エンジン停止直後は素手でマフラに触らないでください。高温のためやけどを負う恐れがあります。</li></ul>
-----------	---

<b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● カーボンがマフラに溜まってしまうと、エンジンの出力不足や始動性の悪化につながります。</li><li>● マフラやディフューザの取付ボルトの締め付けが不完全な場合、運転中にゆるみエンジン火災の原因になることがあります。</li></ul>
-----------	---



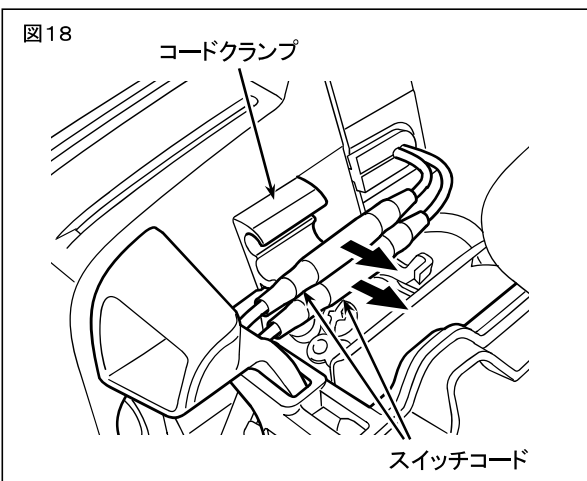
100時間使用毎を目安にマフラを取り外し、点検してください。

- マフラ内部にカーボンが付着している場合は、取り除いてください。
- ディフューザの取付ボルト（2本）が確実に締め付けられていることを確認してください。

【締付トルク】

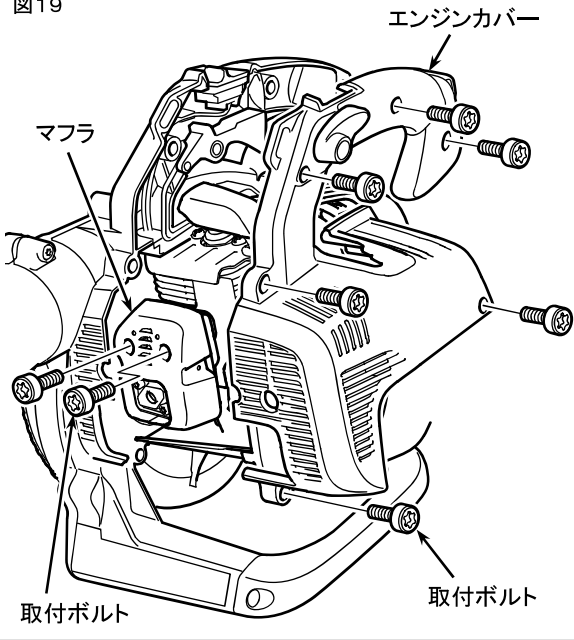
2.0～3.0N・m {20～30kgf・cm}

### 〔マフラの脱着方法〕



1. エアクリーナカバーを外し、コードクランプからスイッチコードの接続部を外してください。

図19



2. 取付ボルト（6本）を外し、エンジンカバーを取り外してください。

【締付トルク】  
2.0～2.5N・m {20～25kgf・cm}

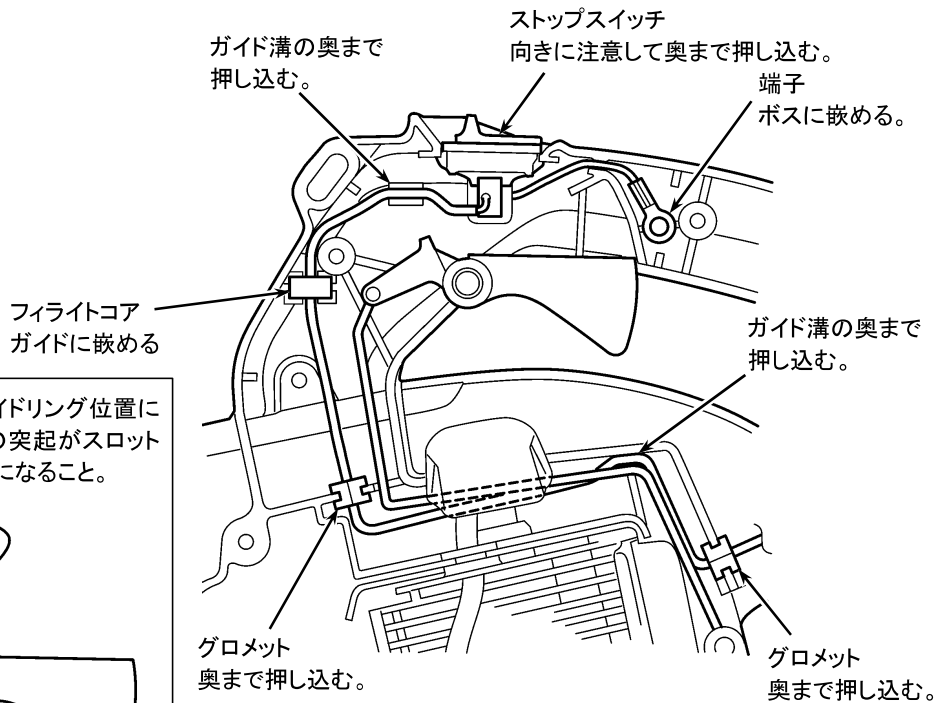
3. 取付ボルト（2本）を外し、マフラを取り外してください。

【締付トルク】  
7.0～9.0N・m {70～90kgf・cm}

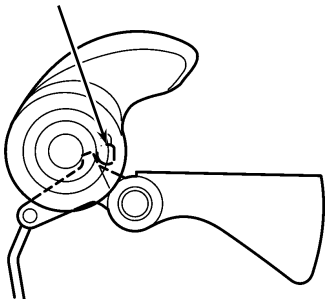
**補 足**

エンジンカバーを外したときに、万一スイッチコードの配線やスロットルレバーが外れた場合は、下図を参照して組み付けてください。また、エンジンカバーを取り付ける際は、クルーズレバーをアイドル位置にしてください。

図20



クルーズレバーをアイドル位置にし、クルーズレバーの突起がスロットルレバーのこの位置になること。



## ■ エンジンの調整

### 重要

キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

図21



アイドル調整スクリュー



↻ 回転上がる

↻ 回転下がる

### 【アイドル調整スクリュー】

スロットルレバーを最低速の位置にした時のエンジン回転数を調整するスクリューです。右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。

## ■ 長期保管時の手入れ


 <b>危険</b>	引火による火災の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。</li><li>● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。</li></ul>
 <b>注意</b>	保管する場合は下記の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 屋外放置を避けること。</li><li>● 夏場の高温になる車内への放置を避けること。</li><li>● 子供の手の届かない場所を選ぶこと。</li></ul>
<b>重要</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。</li><li>● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。</li></ul>

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタのプライマポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. 屋内の火気や湿気のない場所に、シート等をかけて保管してください。

## 故障のときは

現象	主な原因	処置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(9, 10頁)
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ チョークを開き、スロットルを全開にしてローブを繰り返し引く(12, 13頁)
	・ マフラ排気出口詰まり	・ 詰まり除去(23頁)
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはプラグ交換(20頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ スイッチコード接続不良、断線	・ 確実に接続する、または交換
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(9, 10頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ清掃(23頁)
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低すぎる	・ 再調整(25頁)
エンジンの回転が変動する	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換(20頁☆)
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃(20頁)

- ・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

 <b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。</li> <li>● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。</li> <li>● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。</li> </ul>
---	--



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は  
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

### 製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



**0570-084987**

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

## ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

(平成 27 年 10 月現在)

115762879 (E2/A1510) PRINTED IN JAPAN